

第 451 回 構造懇話会 平成 24 年度 幹事会および例会のご案内

構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。  
標記の平成 24 年度 幹事会および例会を下記のとおり開催いたします。  
つきましては、多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。

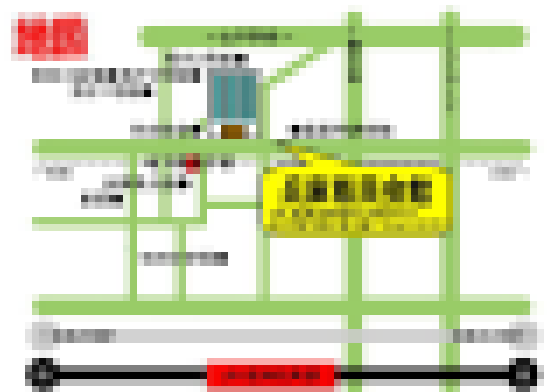
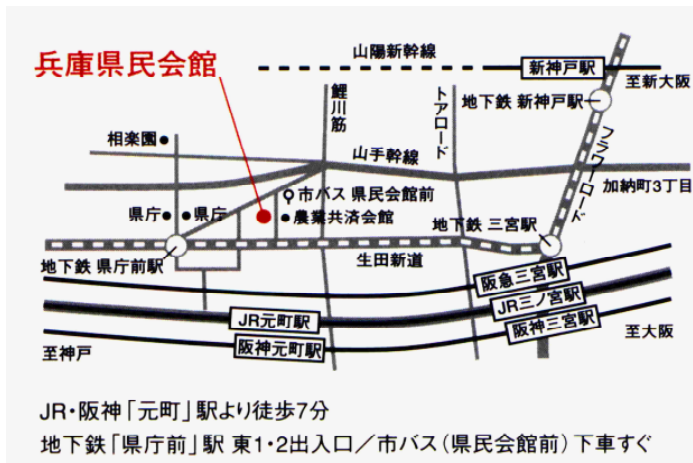
記

1. 日 時 平成 24 年 6 月 25 日 (月) 14:00~17:00
2. 場 所 **兵庫県民会館 1202号室**  
神戸市中央区下山手通 4-16-3 TEL 078-321-2131
3. 議 題
  - 1) 幹事会 14:00~14:55
  - 2) 例会 ①部 15:00~15:55  
『景観工学の紹介と橋梁景観のとらえ方について』  
明石工業高等専門学校 都市システム工学科 助教 石内 鉄平 氏  
休憩 15:55~16:05
  - 3) 例会 ②部 16:05~17:00  
『津波に対する構造物の評価検討事例の紹介』  
大日本コンサルタント株式会社 大阪支社 技術部 特殊構造技術室長  
技術統括部 震災復興支援室長 田崎 賢治 氏

[連絡先] 〒556-0011 大阪市浪速区難波中 2 丁目 10 番 70 号  
高田機工株式会社 小林 雄紀

TEL : 06-6649-5170 / FAX : 06-6649-2439 / e-mail : [t\\_kobayashi@takadakiko.co.jp](mailto:t_kobayashi@takadakiko.co.jp)

[案内図]



## 第 451 回 構造懇話会 例会での報告概要

### 1. 『景観工学の紹介と橋梁景観のとらえ方について』

#### ①報告者

明石工業高等専門学校 都市システム工学科 助教 石内 鉄平 氏

#### ②報告内容

余暇活動や人々の価値観が多様化し生活の質が重要視される今日、良好な景観とは何かが問われている。橋をはじめ道路や鉄道といった社会基盤施設は、景観・歴史・文化的側面を考慮した上でその機能を議論する必要があり、橋の景観に対する研究や議論は活発に行われてきた。そこで本発表では、橋梁景観のとらえ方や設計のポイント、研究事例、最近の動向について報告する。

### 2. 『津波に対する構造物の評価検討事例の紹介』

#### ①報告者

大日本コンサルタント株式会社 大阪支社 技術部 特殊構造技術室長  
技術統括部 震災復興支援室長 田崎 賢治 氏

#### ②報告内容

東日本大震災では、津波によって道路施設や港湾施設にも甚大な被害が生じたことから、当社では、被災した道路や港湾施設の復旧や想定される南海トラフ巨大地震（東海・東南海・南海）による津波に対して、構造物の対策方法を検討しています。本報告では、これまで実施してきた東日本大震災における各種構造物の津波被害分析や今後の津波対策について、代表的な検討事例を報告させていただきます。

－ 以 上 －